

## 令和7年度 第3回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水）9時00分から11時00分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 松本久和、森下律子、市川規子、石神好洋、佐藤剛、高林直子、浅野佑一
- 4 欠席委員 川本博之
- 5 〆ザバー 小林剛（笠井協働センター）
- 6 学校 伊藤美香（校長）、高林督（教頭）、浅羽紗枝（教務主任）、鈴木慎也（いじめ対策コーディネーター）氏原志穂（CSディレクター）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 氏原志穂（CSディレクター）
- 11 議長の選出  
会長から、事前選出において、浅野委員に御推挙いただきたい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
  - (1) いじめ防止等のための基本方針について
  - (2) 学校関係者評価について
  - (4) 学校運営協議会自己評価について
- 13 会議記録  
司会の高林（教頭）から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会高林（教頭）から浅野委員へ交代

(1)いじめ防止等のための基本方針について

・鈴木教諭(いじめ対策コーディネーター)からいじめ防止対策の取り組みについて複数人数による聞き取りの役割分担、状況の共有、協力体制の確認の仕方や、認知件数等の報告があった。委員からは、以下の発言があった。

・丁寧に聞き取りが行われ誤解を生じさせないため、聞き取り人数と時間の確保が十分されていることを知り、先生方の御苦勞を知った。地域の人に授業中先生と違った立場で勉強を見ながら、子供たちの様子を見て頂くことで、先生以外の方が居ることはいじめ防止に繋がるのではないかと。

（森下委員、石神委員）

・家に帰るとスマホや、インターネットの情報社会に子供たちは触れる

事が多い。そういうツールでのいじめに合わないために一人で過ごす時間もスマホ以外で楽しいと思える時間を大人が提案し大切にしたいと思う。  
(森下委員、高林委員)

(2) 学校関係者評価について

浅羽（教務主任）から、別紙資料に基づき学校評価集計報告を基に説明があり、熟議を行った。委員からは以下の発言があった。

- ・児童も保護者も「学校に楽しく通っている」という回答は、肯定的な意見が90%以上と非常に高く、子供たちが日々の生活に充実感を持っていることは、参観して子供の様子を見て分かった。（石神委員）
- ・「かんがえ合う子」の学習面では児童、教師は「最後まであきらめずに取り組んでいる。」90%以上に対し保護者の視点では「進んで学習にとりくんでいる」と肯定的な回答が60%程度に留まっていて授業参観の様子や、家庭での様子を伝えることが出来たら良い。また、保護者は子供に期待して求めているものも高いと感じた。（石神委員、高林委員）
- ・参観会後の懇談会や、子供会の集まり等地域コミュニティーの場が減っている。共働き家庭も多くなり時代の移り変わりを感じる一方、地域コミュニティーの大切さを感じる。（松本委員、高林委員、浅野委員）
- ・他校の学校へ行くことも多くある。他校のやり方等情報収集して良い所を取り入れてほしい。（佐藤委員）

(3) 学校運営協議会自己評価について

委員の皆様から事前に提出いただき自己評価についてまとめたものを確認した。

(4) その他

- ・夢育やらまいかCS加算の報告が高林（教頭）よりあり、学習や、環境等の教育活動が充実したことを確認した。